

圓教寺（円教寺、えんぎょうじ）は、兵庫県姫路市の書写山（しょしゃざん）に位置する寺院で、天台宗の別格本山である。山号は書寫山（書写山）。西国三十三所第27番。現住職は第140世。宗教法人としての名称は常用漢字体の「円教寺」である。

西国三十三所のうち最大規模の寺院で、「西の比叡山」と呼ばれるほど寺格は高く、中世には、比叡山、大山とともに天台宗の三大道場と称された巨刹である。京都から遠い土地にありながら、皇族や貴族の信仰も篤く、訪れる天皇・法皇も多かった。

境内は、仁王門から十妙院にかけての「東谷」、摩尼殿（観音堂）を中心とした「中谷」、3つの堂（三之堂）や奥の院のある「西谷」に区分される。伽藍がある標高371mの書写山は、兵庫県指定の書写山鳥獣保護区（特別保護地区）に指定されている。

山内には、姫路藩本多氏の墓所である本多家廟所があり、そこには本多忠刻に仕え殉死した宮本武蔵の養子・宮本三木之助などの墓もある。室町時代の応永5年（1398年）から明治維新まで女人禁制であったため、女性は東坂参道の入口にある女人堂（現・如意輪寺）に札を納めて帰った。

近年では、2003年（平成15年）公開のハリウッド映画『ラストサムライ』のほか、NHK大河ドラマ『武蔵』（2003年〈平成15年〉）や『軍師官兵衛』（2014年〈平成26年〉）のロケ地にもなった。